

特集

札幌市制100周年

札幌の市制の始まりは100年前の1922年8月1日。
当時、人口約12万7千人だった札幌は、
約197万人もの人が暮らす都市へと発展しました。
今月号は、市制100周年を記念した大特集。
改めて、札幌の魅力を見つめ直してみませんか。



たが、冬の帰り道では髪の毛が凍ったことを思い出しますね。(笑) それと、プロスポーツや文化芸術を楽しめる場も増えて、余暇の楽しみ方が変わったと感じています。
ギユウ太 市長お気に入りのスポーツを教えてください！
秋元市長 学生の頃から好きなのは、市内を一望できる大倉山ジャンプ競技場です。場所が少し違います、開拓使判官の島義勇が現在の円山公園の辺りから札幌を望み、50年後、100年後のまちに思いを巡らせていたのかなと思うと、感慨深いものがあります。
ギユウ太 100年後の札幌はどんなまちになっていると思いますか？
秋元市長 今以上にグローバルで、いろいろな国の人たちが当たり前に行き交うようになっているのではないでしょ

秋元市長に聞いた

この100年を

うか。札幌は、外から来た人を受け入れる寛容なまちであり続けたいと思います。他には、気候変動がどうなっているのか、気がなります。例えばヨーロッパでは、アルプスなどでも雪や氷が急激に減少しています。札幌は今はまだ、雪の風景が身近にある世界でもまれな都市。豊かな自然に恵まれたこのまちを、次の世代にもしっかりと引き継いでいかなければと思います。



広報さっぽろ
キャラクター
ギユウ太

次の100年へ

ギユウ太 秋元市長、こんにちは。札幌は「市」になってから、100年が経ちましたね。
秋元市長 北海道の発展とともに、先人たちの努力によって札幌は大きくなってきました。50年ごとに人口が約100万人も増えた、日本でもあまり例のない都市ですね。
ギユウ太 そんな札幌の自慢できるところはどこですか？
秋元市長 市内外の人々から愛されているという点で、札幌は日本一だと思います。9割以上の市民の方から「札幌が好き」と言っていたっていて、観光客の方にも「食べ物おいしい」、「空気が清涼」など、良いイメージを持っていただけ。とても好感度が高いまちなんです。他の政令市の市長からも、うらやましがられることがあるんですよ。また、暮盤の目の

街並みは、道の先が空まで抜けていて開放感がある。都市のにぎわいがありながら、自然がすぐそばに感じられるというのも、札幌の魅力だと思っています。
ギユウ太 振り返ってみて、札幌に住み始めた当時の思い出や、昔と比べて変わったなと感じる部分はありますか？
秋元市長 学生の頃に住んでいた下宿先には風呂がなく、よく銭湯に行っていました。

札幌市長
あきもと かつひろ
秋元克広



サカナクション
草刈 愛美さん

石狩街道

楽器を持ち何度も通った道。ポプラ並木、南北の山並み。移動中に気候も変わり、いつもあるのは広い広い空。そこで聴いた音楽や、ひとり眺めた景色が今もなお創作の緒になります。



自由人
えぞさん

豊平川のある風景

札幌市民となり6年目。河川敷で思い思いに過ごす人々を眺めていると、何気ない日常の尊さを感じます。美しい川の流れて平和な日々が、100年先にもありますように。

主婦
アンバさん

宝石のような夜景

札幌の夜景は世界に誇れるくらい素敵で、見ているととても元になります。花火大会の時も、小さくですが藻岩山からも見えて、お勧めです。



アイヌ彫刻家
荒木 繁さん

熊の木彫り

手作りのぬくもりの良さを残した木彫りの熊と、大切な文化を守るために彫っている職人。時代に合わせて変化していく手彫りの熊を、100年後も見てみたいと思います。



北海道コンサドーレ札幌
高嶺 朋樹さん

コンサドーレのある日常

試合を見に来た方々が、心の底からサッカーを楽しんでいる景色を残したいです。コンサドーレが今後も愛され、皆さんの生活の一部になっていければうれしいです。

りょんりょんさん

大通公園

爽やかな青空の下、ベンチに座ってトウモロコシを食べたり、よさこいソーランに歓声を上げたり、仲間たちとビールで乾杯したり、いろいろ楽しめる大通公園を残したいです。

主婦
ちやちやさん

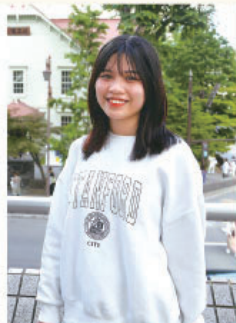
ラーメンやスーパカレー

大学進学を機に札幌へ。そのまま札幌で就職、結婚して今は娘たちとラーメンやスーパカレーを楽しんでいます。近々、北海道新幹線も来ますし、ますます楽しい街です。

ベトナム人留学生
ト・ティ・タイン・ヴァンさん

札幌の街と人

札幌に4年間住んでいて、新鮮な空気や人々の親しみやすさが気に入っています。1年の半分は白い雪がいっぱいだし、よさこいや雪まつりなどのお祭りはとてもにぎやかで楽しいです。



札幌市指定無形文化財
丘珠獅子舞さん

明治25年から続く丘珠獅子舞

例年、丘珠神社の秋季御例祭で、皆さんの無病息災と、五穀豊穡を願い、踊り手と共にさまざまな舞いを披露しています。未来の子どもたちにも踊り継いでほしいです。



飲んだくれキャンパー
小田島 雄一さん

さっぽろ雪まつり

最近は毎年気温が上がっている感じがしますが、温暖化問題が100年後どうなっているか。残したい、残っていてほしい雪まつり。100年後は雪を見ることができないかも…

皆さんが選んだ

「100年後に残したい私の好きな札幌」

好きな場所や食、風景や文化など、それぞれのお気に入りの「札幌」——。このページでは、市制100周年を記念して、札幌にゆかりのある方や、市民の皆さんが選んだ「100年後に残したい私の好きな札幌」を紹介します。



チーム ナックス
TEAM NACS
森崎 博之さん

農業が身近な都市

意外に農地が多い札幌、レタスや小松菜は全道トップクラス。多種栽培されて市民農園も活発です。都会ながら少し移動するだけで広大な農地に会える、この風景こそ守りたい！



リトル グリー モンスター
Little Glee Monster
アサヒさん

モエレ沼公園

今でも地元に戻ると遊びに行きます。イサム・ノグチさん設計の芸術的な公園は、冬にはモエレ山でソリ滑りをしたり、いつの季節でも楽しめて、ワクワクする大好きな場所です。

大好物は笑うこと
高橋 美貴さん 百音さん

札幌市電

妊娠中に席を譲ってもらったこと、降車時に傘を貸してもらったこと、育児が大変だった頃、桜の中を走る電車で勇気をもらったこと。心が温かくなった思い出がたくさんあります。



プロスキーヤー/冒険家
三浦 雄一郎さん

大倉山シャンツェ

ジャンプ台のスタート地点から望む大通へと続く風景は私が最も好きな景色。自然と人間が調和した営みと北海道のスケールの大きさが感じられ、市民が誇れる場所です。



エグザイル
劇団EXILE
青柳 翔さん

狸小路商店街

最近、地元に戻っていますが、狸小路は僕の青春です。札幌に住んでいた頃は用もなく端から端まで歩いていました。あの時の高揚感は今でも記憶に残っています。



昼寝の達人
伊藤 安紀子さん

札幌時計台

街の中心にありながら静かなたたずまいを見るとホッとします。いつまでも今の場所で、変わりゆく札幌の街を見てほしいです。

年表で見る主な出来事

札幌市が歩んだ100年

1922~1946

- 1922 大正11年
 - ・札幌市制施行
 - ・市会（市議会）初開催
- 1927 昭和2年
 - ・市営電車開業
- 1928 昭和3年
 - ・NHK札幌放送局がラジオ放送開始
- 1930 昭和5年
 - ・市営バス事業開始
- 1931 昭和6年
 - ・大倉シャンツェ完成
- 1937 昭和12年
 - ・第5回オリンピック冬季競技大会札幌での開催決定（翌年返上）
- 1940 昭和15年
 - ・人口が20万6千人を超え道内最多に
- 1941 昭和16年
 - ・円山町と合併



▲市が事業を譲り受けた電気軌道株式会社の市街電車。1918年に路面電車が開通し、路線が徐々に延長された

1947~1971

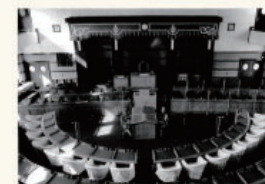
- 1950 昭和25年
 - ・広報さっぽろ創刊
 - ・雪まつり初開催
 - ・白石村と合併
- 1951 昭和26年
 - ・円山動物園開園
- 1954 昭和29年
 - ・夏まつり初開催
 - ・狸まつり初開催
- 1955 昭和30年
 - ・琴似町、札幌村、篠路村と合併
- 1956 昭和31年
 - ・テレビ塔の塔体完成
 - ・NHK札幌放送局がテレビ放送開始
- 1958 昭和33年
 - ・豊平館を中島公園内に移築
 - ・もいわ山ロープウェイ開業



▲雪像「セザンヌのモニュマン」（1950年撮影）。1日のみの開催だった初めての雪まつりは、5万人もの人でにぎわった



▲広報さっぽろ第1号は1950年1月1日に発行。市長のあいさつや前年までの市議会の内容などを掲載した



▲市役所旧庁舎の本会議場（1937年撮影）。市会は、1947年に市議会に改称した

1972~1996

- 1959 昭和34年
 - ・ライラックまつり初開催
 - ・商工夏まつりでビアガーデン開催
 - ・ポートランド市と姉妹都市提携
 - ・中央卸売市場開場
- 1960 昭和35年
 - ・市民投票により、札幌の花がスズラン、木がライラック、鳥がカッコウに決定
- 1961 昭和36年
 - ・豊平町と合併
- 1963 昭和38年
 - ・市民憲章制定
- 1967 昭和42年
 - ・手稲町と合併
- 1970 昭和45年
 - ・人口が100万人を突破
- 1971 昭和46年
 - ・市役所現庁舎完成
 - ・さっぽろ地下街（オーロラタウン、ボールタウン）開業
 - ・市営地下鉄南北線（北24条～真駒内）開業



▲札幌の花、木、鳥を決める投票には、12万917票が集まった（広報さっぽろ1960年12月号より）



▲豊平館と建築中のテレビ塔（1956年撮影）。豊平館は、現在の中央区北1西1にあった

- 1972 昭和47年
 - ・第11回オリンピック冬季競技大会開催
 - ・政令指定都市に移行
 - ・区制施行（中央、北東、白石、豊平、南、西区）
 - ・「ミンヘン」市と姉妹都市提携
 - ・豊平峡ダム完成
- 1976 昭和51年
 - ・市営地下鉄東西線（琴似～白石）開業
 - ・こども人形劇場（ぐま座）開館
- 1980 昭和55年
 - ・札幌市と友好都市提携
- 1981 昭和56年
 - ・ホワイトイルミネーション初開催
- 1986 昭和61年
 - ・第1回アジア冬季競技大会開催
 - ・芸術の森一部オープン
- 1988 昭和63年
 - ・市営地下鉄東豊線（栄町～豊水すすきの）開業
- 1989 平成元年
 - ・白石区と西区の分区により厚別区と手稲区新設



▲オリンピック開会式の聖火リレー（1972年撮影）。35カ国の選手が競技に参加した



▲開業当時の地下鉄南北線。全ての駅に自動改札を設置したのは全国初

私の注目！

世界的なウィンタースポーツのまちになるきっかけ



街歩き研究家
和田 哲さん

1928年に秩父宮さまが来道してスキーの必要性を伝えられたことで、スケートほど身近ではなかったスキーが、冬のスポーツとして市民の間にも広まっていきました。また、1954年には国内初の世界選手権大会である男子スピードスケート選手権大会を円山競技場で開催。この実績が関係者の目に留まり、1972年の冬季オリンピックピック開催につながったといえます。札幌は今も仕事終わりに気軽にスキーに行ける数少ないまち。これらの出来事がないれば、札幌にとって冬のスポーツはもっと遠い存在だったかもしれません。

私の注目！

豊かな北の海とつながるあいの里



ノンフィクションライター
北室 かず子さん

1980年代に団地が整備された北区あいの里。地名の由来には、明治時代に藍が栽培されていたことがありますが、なぜあいの里で藍が栽培されていたのか。それは、藍の一大産地だった徳島県の農民が、藍の肥料となる鯀粕（じゅんぱく）の価格の高騰に苦しめ、鯀粕を少しでも安く手に入れたいと、鯀が取れる石狩湾に近いこの地に移住し、藍の栽培を始めたためです。ということは、いにしえの鯀が、現在のあいの里の地名をつくったともいえるのではないのでしょうか。あいの里の歴史の背景には、北海道の豊かな海があったんです。

抽選で当たる

市制100周年記念読者プレゼント

1 定山溪観光協会 ペア宿泊招待券 1組

花もじの「最上階・温泉付き客室プレミアフロア“urara”」が今年の春リニューアルオープン。上質な和のしつらえと快適さをご提供します。

利用期限 来年2/28(火)



※平日限定など条件あり

2 定山溪観光協会 ランチビュッフェペア招待券 1組

定山溪鶴雅リゾートスパ森の調.おとぎ話に出てくるような「おいしいごちそう」が何でもそろう、森に包まれたレストランで楽しいお食事を。

利用期限 12/15(木)



※要事前予約

3 純米札幌市制100周年 記念酒(720ml)

12人 ※応募受け付けは20歳以上の方のみ

市制100周年を記念して、日本清酒が12月未まで道内の酒屋などで期間限定販売する日本酒。豊平川の伏流水と道産酒米「吟風」を100%使用した、スッキリとした味わいです。市内観光名所をデザインしたラベルにもご注目！



4 スイーツ王国さっぽろ推進協議会 焼き菓子詰め合わせ

10人

benbeyaの5種類の焼き菓子は、いろんなフレーバーと食感を楽しめます。小っちゃいけれど欲張りなプチギフトを、100周年のお祝いに。



5 すすきの観光協会 すすきの プレミアムチケット 3,000円分 10人

202の参加店舗で利用できる食事券。すすきのの魅力的なお店を開拓してみませんか。 利用期限 12/31(土)



6 札幌観光協会 羊ヶ丘展望台 入場ペアチケット

50組

クラーク博士像で知られる羊ヶ丘展望台。雄大な景色の中でゆったりとした時間を過ごしてみては。



応募方法

はがき、ファクス、Eメール、ホームページ。「読者プレゼント希望」と記入の上、希望する番号とプレゼント名、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌の感想を記入し、8/31(水)(必着)までに広報課(1ページ)へ。抽選。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。



このほか
コンサドーレの
試合のご招待も！
(14ページ)



©1996 CONSADOLE

札幌が、もっとはじまる。

市制100周年のキャッチフレーズ「札幌が、もっとはじまる。」――。

市となって100周年を迎えた札幌市は、多くの方に愛されながら、歴史と新しさ、自然と文化が調和する都市へと成長を遂げてきました。これまでの100年に思いをはせて、札幌がこれからも魅力的で持続可能なまちでいられるよう、新しい100年に向けて共に歩みを進めていきましょう。

1997	平成9年	・第2回アジア冬季競技大会開催 ・ノボシビルスク市と姉妹都市提携 ・パンフィックミュージックフェスティバル初開催
1992	平成4年	・平和都市宣言 ・YOSAKOIソーラン祭り初開催 ・コンサドーレ札幌誕生
1966	平成8年	
1997～現在		
1997	平成9年	・コンサートホールKitara開館 ・豊平区の分区により清田区新設
2001	平成13年	・札幌ドーム開業
2002	平成14年	・FIFAワールドカップ™開催
2003	平成15年	・JRタワー開業
2004	平成16年	・北海道日本ハムファイターズ誕生
2005	平成17年	・モエレ沼公園グランドオープン
2008	平成20年	・エスボラダ北海道誕生 ・オータムフェスト初開催
2010	平成22年	・大田広域市と姉妹都市提携
2011	平成23年	・駅前通地下歩行空間開通 ・レバンガ北海道誕生
2014	平成26年	・国際芸術祭初開催
2017	平成29年	・第8回アジア冬季競技大会開催
2018	平成30年	・市民交流プラザ開館
2019	令和元年	・ラグビーワールドカップ2019™開催
2021	令和3年	・第32回オリンピック競技大会開催
2022	令和4年	・札幌市制100周年

▶Kitaraへのパイプオルガンの設置(1997年撮影)。1995年に市民からホールへの愛称を公募した



札幌市公文書館所蔵

▶1990年撮影の札幌駅。2030年度末には北海道新幹線が札幌まで延伸予定であり、駅周辺の再開発も進んでいる



札幌市公文書館所蔵



写真提供:さっぽろ公園

◀建設中のガラスのピラミッド(2002年撮影)。モエレ沼公園は、彫刻家イサム・ノグチが基本設計を手がけ、「公園全体を一つの彫刻作品とする」というコンセプトの下、造成が進められた



写真提供:YOSAKOIソーラン祭りの組織委員会

◀YOSAKOIソーラン祭りは10チーム1,000人の参加者から始まり、2019年には279チーム28,000人が参加するイベントに成長(写真は初開催時のもの)

私の注目!

私が見てきた
札幌の100年

100歳の
元書道講師
安住 多香子さん



大阪府で生まれ、3歳の頃から札幌に住み始めました。当時の家は北海道大学の近く、桑園の辺りでしたが、家は少なくて畑があり、クマやシカ、タヌキやキツネなどがよく出ました。荷物は馬車や人が運んでいて、今と全く違う暮らしの風景でしたよ。他にも、現在の札幌北高校の前身である庁立高女(北海道庁立札幌高等女学校)まで歩いて通学していたことを思い出します。学校の場所も今と違い、北2条西11丁目にありました。100年分の思い出が詰まった札幌のまちは、道都としてこれからも皆さんが集まる都市であってほしいです。